

おとうとは まるい

校 長 武井 正明

嬉しい報せた。

このほど吉中の男子1年生が、第32回矢澤宰賞を受賞した。全国15都府県、24小中高から915編という募集作の中から選ばれた快挙である。私は吉田中校長として、見附市民として、こんなに誇らしいことはない。

彼の受賞を聞いて、恥ずかしながら初めてしっかりと、矢澤宰について調べてみた。

矢澤宰は中国の生まれ。母親の故郷である見附・上北谷に移住してくる。8歳の時、復員した父親から腎臓結核を感染する。以来、小学校には殆ど行けず、絶対安静の入院生活を強いられる。その日々の中で日記や詩や文章を書き綴り、作った詩集は2編。母親が毎日新聞に投稿したことがきっかけで、世に知られることになる。そして私が生まれた1966年、21歳の短い生涯を終えた。だから、宰が生きていれば、今年でちょうど80歳ということになる。

「アンパンマン」作者のやなせたかしは、宰を「唇に真珠をふくむ詩人」と評した。後に見附市の矢澤宰の生家を訪れるほど、彼の詩や人間を愛してやまなかったという。病と闘いながら「思い出の風景だ 然しわたしがいない わたしは何処に行ったのだ？そしてわたしの愛は？」と最期の言葉を遺し、宰は力の限り生き、逝った。

あらためて吉中生の受賞作をじっくり読む。

私の感性では、とても書けない。こんな詩見せられたらもう、かなわない。

彼の瑞々しさが羨ましい。読者の反応など何ら気にしていない。ただ澄んだ瞳で、弟を見つめた、兄貴目線からのちょっと複雑な、愛情あふれる、純粋な詩である。

おとうとは まるい

|           |              |          |
|-----------|--------------|----------|
| おとうとは まるい | おしりも まるい     | おなかも まるい |
| ほっぺも まるい  | めも まるい       | 手はクリームパン |
| 円柱だ       | せいかくもまるい     |          |
| みんなには まるい | ぼくには さんかく    | ちょっとおかしい |
| かわいくはない   | でもかわいいって言われる |          |
| ごろごろしている  |              |          |
| かわいくはない   |              |          |
| ごろごろ ごろごろ |              |          |
| かわいくない    |              |          |